### 令和5年度学校運営連絡協議会実施報告

#### 1 組織

- (1)都立大崎高等学校学校運営連絡協議会(全日制課程)
- (2) 事務局の構成 副校長(事務局長)、主幹教諭3名 計4名
- (3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、総務部主任、教務部主任、生活指導部主任、進路指導部主任、第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任、計10名

(4)協議委員の構成

PTA会長、同窓会会長、大正大学教授、品川区立ゆたか児童センター館長、戸越五丁目町会長、品川区立豊葉の杜学園校長、田進ゼミ大森校専務取締役 計7名

### 2 概要

- (1) 学校運営連絡協議会(第1~3回)の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - ア 第1回 令和5年6月30日(金)本校会議室、内部委員10名、協議委員6名 協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営計画、本校の現状と課題等説明、意見集約
  - イ 第2回 令和5年10月20日(金)本校会議室、内部委員10名、協議委員5名 授業公開、入試情報、教育活動の進捗状況報告、学校改善に向けた取組について 意見交換 学校評価の内容検討、協議
  - ウ 第3回 令和6年3月4日(月)本校会議室、内部委員10名、協議委員6名 本校教育活動報告(成果と課題)、学校評価アンケート結果報告、意見集約
- (2) 学校評価委員会 開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - ア 第1回 令和5年10月20日(金)本校会議室、内部委員2名、協議委員4名 学校評価の実施に向けた検討(観点・項目・内容・実施時期)
  - イ 第2回 令和6年3月4日(月)本校会議室、内部委員2名、協議委員4名 アンケート結果についての検証、次年度実施に向けての検討

#### 3 学校評価(学校評価報告)

(1) 観点

ア 学校への理解

学校生活、学習指導、生活指導、進路指導の満足度を把握する。

イ 学校の教育力

各教員の意向を集約し、傾向から教育力を把握する。

ウ 生徒の期待

夢や希望、取組状況を把握し、学校に対する期待値を見る。

- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - 12月 全校生徒 回答率87%
  - · 1 2 月 保護者 回答率 3 2 %
  - ・12月 地域・住民 回答率90%
  - · 1 2 月 教職員 回答率 9 0 %
- (3) 主な評価項目
  - ・学校経営計画、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、防災教育、学校広報
- (4) 評価結果の分析・考察
  - ・学校評価アンケートは、回答しやすい質問項目ではあるが、文章表記が分かりにくい表現であったため、 正しい回答にならない部分があった。次年度以降の課題とする。
  - ・学校生活に満足している生徒が85.1%を占めた。生活指導は、肯定的な意識が90.7%と高い数値を示し、指導を受容していると推察する。ただし、授業満足度が74.2%と他の満足度に比べて大きく下回ったことは今後の教科指導に生かすべき数値であると判断する。

### 4 成果と課題

- (1) 成果
  - ア 共通テスト受験者数182名
  - イ 創立 110 周年記念式典実施により、生徒、保護者、教職員の学校結束意識の醸成
  - ウ 地域ボランティア、地域連携事業多数実現
  - エ 多文化共生海外派遣研修(アラブ首長国連邦)を通じ、国際化の醸成

- オ 3大学校行事+修学旅行の実現
- カ 体育健康教育推進校(1年目)としての取組活動を推進
- キ 学校見学・説明会 全8回実施 参加者 延べ2837名
- ク 受検倍率の向上
- ケ 特進クラス経営方針の合意形成

#### (2) 課題

- ア 保護者との共通理解(学びの多様化への対応)
- イ 複雑な家庭環境を要因とする、問題や課題への教員の対応
- ウ 統合型支援システム導入等に伴う教務部業務の負担増
- エ 空調設備等の施設老朽化への対応
- オ 働き方改革の推進(男性育休、育短、部分休、介護休暇等への理解促進)
- カ 受検生のニーズに応える授業や部活動の体験型説明会の一層の拡充
- キ 教育活動の主な次年度への提言

# 5 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

- (1)協議委員人数 7人
- (2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう思 わない	そう 思わない	分からない	無回答
7						

## 6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

【成果】 特になし

### 7 その他

- ・本校についての理解を地域の方々に深めてもらう取組を積極的に推進する。
- ・学校評価アンケートの回収率が低いことを受け止め、回答方法について検討していく。